

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		各種式典事業			
基本事項	予算科目	11-10-4-1(1-4-1)		所 属	教育部生涯学習課
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之
	担 当 者	係長 新田 陽介		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-167)
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	2) 青少年の健全育成
	義務的事業			定型的事業	
事業の概要	目的	「立志式」「成人式」は、いずれも人生の節目を迎えるにあたり、「自分の将来の夢や目標に向かって精一杯努力を重ねる」「社会の一員となったことを自覚し、人として有意義な人生を歩んでいく」自覚・決意を持って門出ができるように祝い励ますことを目的とする。			
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容	
		立志式	市内中学2年生	意見発表、記念講演会	
		成人式	新成人該当者	新成人代表者の司会進行や各宣言を新成人代表が担当	
	費用	事業費		管理費	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円
	1,314	1,314	6,383	5,790	7,697 7,104
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け			
	必要性	70	立志式、成人式は価値観を共有することで、自己中心的な人間にならないよう大人としての責任と行動を再認識するとともに、自分の可能性を見出し、今後に役立てられると考える。 青少年健全育成を目指すうえで、このような場を提供することは非常に重要である。		
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率
		成人式参加率	80.0 %		0.0 %
		指標の内容	実績の分析		
成人式の新成人該当者のうち、当日の参加者の割合を指標とする。(平成20年度実績 = 77.4%)					
指標の算式					
	成人式参加者数 / 新成人該当者数 * 100				
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等	
	目標評価点	9.85			

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		公民館管理運営事業				
基本事項	予算科目	11-10-4-2(1-2-1)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	係長 新田 陽介		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-166)	
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	3) 生涯学習・芸術・文化振興	
	義務的事業	社会教育法		定型的事業		
事業の概要	目的	市内には21館の公民館及び2館の公民館機能を持つ施設があり、その対象範囲は中学校区から自治会単位と様々で、それぞれの対象となる地域に根ざした活動を行っている。 「地域の市民」に対して、「生活文化の向上に資する各種事業を展開する」ことにより、「地域文化の向上を推進する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		公民館関係者会議の開催	館長	公民館の活動方針等についての協議		
		各種講座等の開催	市民	市直営の公民館機能が子どもからお年寄りまでを対象として各種講座等を開催		
		地域づくり事業補助金交付	地域の公民館	社会教育・生涯学習活動のための補助金を交付し、地域活動の活性化の推進や運営を支援		
費用	修繕工事の実施	地域の公民館	各地区からの要望及び法定点検の結果、必要となる修繕について、地区と協議のうえ実施			
	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	
	26,606	18,040	13,312	12,077	39,918	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	75	それぞれの中学校区を対象として高松女性センター(高松公民館)、七塚生涯学習センター及び宇ノ気勤労青少年ホームの職員が地域との連携を深めながら事業を展開することは、地域及び家庭の教育力の向上を図るうえで非常に重要な位置を占める。			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		教室・講座・交流大会の参加者数		1,000.0	人	0.0
		指標の内容		実績の分析		
高松女性センター(高松公民館)、七塚生涯学習センター及び宇ノ気勤労青少年ホームが公民館事業として行う各講座等の参加者数の累計を指標とする。 (H20年度実績 = 951人)						
指標の算式						
総合評価	評価点	0.00	方 向 性	改 善 計 画 等		
	目標評価点	2.49				

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		図書館管理運営事業				
基本事項	予算科目	11-10-4-3(1-2-1)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	係長 福島 若子		連 絡 先	(076)285-1377 (内線 7-932)	
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	3)生涯学習・芸術・文化振興	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	<p>市内には公立図書館が3館あり、それぞれ図書及び視聴覚資料等を幅広く資料を収集し、また、市内の3図書館及び石川県西田幾多郎記念哲学館図書室の蔵書データを一元管理する電算システムを構築することにより、資料の検索及び貸出業務を行っている。</p> <p>「図書館の利用者」に対して、「時代にあった資料及びニーズに応える資料を適切に収集し、その情報を発信し、レファレンス等を通じて知る権利を守るとともに、読書活動の支援を行う」ことで、「読書を通しての生涯学習を推進する」ことを目的とする。</p>				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		電算処理システム維持管理	施設	図書資料データ管理(資料登録及び貸出処理など)の一元化による管理業務の向上		
		資料購入	市民	各館の蔵書構成を把握するとともに、市民のリクエストも考慮し適切な図書を選定		
		レファレンス	利用者	図書館の利用者に必要な資料や情報を的確に案内するレファレンスを随時実施		
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	37,870	37,860	29,178	26,469	67,048	64,329
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	75	<p>当該電算システムの維持管理を適切に行うことにより、蔵書点検等の蔵書管理面だけではなく、図書館利用者の利便性を確保し、更にインターネット回線を利用し市外の公立図書館の蔵書の検索及び予約が可能になる等、図書館運営事業を推進するうえにおいて必要不可欠なものである。</p> <p>社会の要請及び市民ニーズを見極めながら、また、郷土資料及び行政資料等も含め適切な資料を配置することは、市民の教養を高めるうえで重要な位置を占める。</p>				
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		個人貸出延べ人数	50,000.0	人	人	%
		指標の内容	実績の分析			
図書館3館の年間延べ貸出者数の累計を指標とする。(H20年度実績:46,906人)						
指標の算式						
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
	目標評価点	1.17				

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		男女共同参画社会推進事業					
基本事項	予算科目	11-10-4-4(1-2-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	係長 能田 玲子		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-169)		
	基本方針	6. 住民参加・連携・交流		主要施策	4)男女共同参画社会の形成		
	義務的事業	男女共同参画社会基本法		定型的事業			
事業の概要	目的	<p>本市は、平成18年度に「かほく市男女共同参画行動計画」を作成し、当該計画に基づく年次計画を定めて男女共同参画社会の実現に向けての施策を展開している。</p> <p>「市民」に対して、「それぞれの立場から事業を実施するとともに、男女共同参画審議会及び苦情処理委員会の開催により、施策の方向性の確認及び市民からの意見等を審議し、併せて市民向けの啓発活動を行う」ことにより、「男女共同参画社会に対する意識を形成し理解を促進する」ことを目的とする。</p>					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		男女共同参画審議会の開催	審議会委員	男女共同参画に関する施策についての調査、審議及び答申			
		男女共同参画苦情処理機関の設置	市民	市民からの施策提案や苦情等の申出を処理する機関を設置し、地域の実情に応じた体制の整備			
		意識啓発講演会等の開催	市民	講演会の開催、また、市広報等を活用し男女共同参画社会について市民へ周知			
費用	事業費		管理費		総費用		
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	489	402	5,835	5,294	6,324	5,696	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	90	<p>男女共同参画社会への理解促進は、男女共同参画社会の形成につながるものであり、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることは、市民がふれあう連携と交流のまちづくりに寄与することとなり、法に基づく地方公共団体の責務として重要な位置を占める。</p>				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
				%	%	%	
		市民アンケートにおける男女共同参画社会の理解率		80.0		0.0	
	指標の内容		実績の分析				
	<p>市民を対象とする講演会または講座の参加者に対し実施するアンケート調査において、男女共同参画社会について「実現に協力していきたい」と回答した割合を指標とする。</p>		<div style="background-color: #f4a460; padding: 10px;">                     実績の分析                 </div>				
	指標の算式						
	$\frac{\text{実現に協力したいと回答した人数}}{\text{有効回答数}} \times 100$						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00		<div style="background-color: #f4a460; padding: 10px;">                     改善計画等                 </div>				
	目標評価点						
15.80							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		女性センター管理運営事業				
基本事項	予算科目	11-10-4-4(1-3-1)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	主査 横井 幸生		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-169)	
	基本方針	6. 住民参加・連携・交流		主要施策	4)男女共同参画社会の形成	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	女性センターは、各種講座の開催に加えて主に市内の女性のグループ活動の場として文化的・教育的な活動を行う拠点となっている施設である。 「女性センターの建物」に対して、「適切な維持管理を行う」ことによって、「市民に安心して安全に利用できる生涯学習の場としての環境を提供すること」を目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		施設維持管理事業	施設	施設の適正な維持管理を行うことによる良好な施設環境の維持		
		学習活動の場の提供	施設利用者	市民またば市民団体の活動の機会を確保し、更に学習情報の提供等による支援		
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	
	142	137	4,741	4,301	4,883	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	60	当該事業を実施することにより、女性の社会参画の推進及び女性の地位向上等の人権尊重につながることとなり、男女共同参画社会の形成に資するものといえる。 また、当該施設は市内の働く女性または市民団体の生涯学習活動の拠点となっており、施設の管理を適切に行い、利用しやすい環境を維持することが必要である。			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		女性センター利用者数		7,000.0	人	0.0
		指標の内容		実績の分析		
各種講座や生涯学習活動等で女性センターを活用した年間利用者数の累計を指標とする。(H20年度実績 = 6,687人)						
指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
13.52						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		生涯学習センター管理運営事業					
基本事項	予算科目	11-10-4-5(1-1-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主査 松本 博昭		連 絡 先	(076)285-1100 (内線 7-932)		
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	3) 生涯学習・芸術・文化振興		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	かほく市七塚生涯学習センターは、市民の生涯学習活動を行う場として設置されたものであり、各種講座の開催に加えて市民または市民団体の生涯学習活動の拠点となっている施設である。 「七塚生涯学習センターの建物」に対して、「適切な維持管理を行う」ことによって、「市民に安心して安全に利用できる生涯学習の場としての環境を提供すること」を目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		施設維持管理事業	施設	施設の適正な維持管理を行うことによる良好な施設環境の維持			
		学習活動の場の提供	施設利用者	市民または市民団体の活動の機会を確保し、更に学習情報の提供等による支援			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	10,377	10,147	4,741	4,301	15,118	14,448	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	80	市民の自主的な生涯学習活動の場を提供することは、市民のサークルまたは団体等の学習を通じて自分づくりを進め、更に学びの成果が地域づくりへつながっていくことから、当該施設の管理を適切に行い、利用しやすい環境を維持することが必要である。					
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		七塚生涯学習センター利用者数		13,500.0	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
各種講座や生涯学習活動等で七塚生涯学習センターを活用した年間利用者数の累計を指標とする。 (H20年度実績 = 13,034人)							
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
5.54							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		勤労青少年ホーム管理運営事業					
基本事項	予算科目	11-10-4-6(1-3-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主査 中田 政彦		連 絡 先	(076)283-4320 (内線 71-291)		
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	2) 青少年の健全育成		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	市内2箇所の勤労青少年ホームは、各種講座の開催に加えて主に市内の勤労青少年のグループ活動の場として文化的・教育的な活動を行う拠点となっている施設である。 「七塚及び宇ノ気勤労青少年ホームの建物」に対して、「適切な維持管理を行う」ことによって、「市民に安心して安全に利用できる生涯学習の場としての環境を提供すること」を目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		施設維持管理事業	施設	施設の適正な維持管理を行うことによる良好な施設環境の維持			
		学習活動の場の提供	施設利用者	市民または市民団体の活動の機会を確保し、更に学習情報の提供等による支援			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	6,444	6,152	5,835	5,294	12,279	11,446	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	65	市内の勤労青少年の自主的な生涯学習活動の場を提供することは、グループ活動による学習を通じて仲間づくりを進め、更に学びの成果が地域づくりへつながる。また、当該施設は勤労青少年または市民団体の生涯学習活動の拠点となっており、施設の管理を適切に行い、利用しやすい環境を維持することが必要である。				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		勤労青少年ホーム利用者数		39,000.0	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
	各種講座や生涯学習活動等で勤労青少年ホームを活用した年間利用者数の累計を指標とする。(H20年度実績 = 38,431人)						
	指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
5.68							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		総合交流促進施設管理運営事業				
基本事項	予算科目	11-10-4-7(1-2-1)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	主査 塩本 和頼		連 絡 先	(076)283-8880 (内線 7-931)	
	基本方針	6. 住民参加・連携・交流		主要施策	1) 市民交流の推進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	かほく市うみっこらんど七塚は、海と渚の博物館、市民ギャラリーうみっこ、キャンプ場及びバーベキュー場等から構成されており、市民を中心とする人々の交流の場としての運営がなされている。 「かほく市民等の施設利用者」に対して、「漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えてキャンプ場及びバーベキュー場等のレクリエーション場を提供する」ことによって、「人々の交流活動を促進する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		海と渚の博物館の運営	施設利用者	舟及び漁具等に関する資料の収集及び展示		
		キャンプ場及びバーベキュー場の運営	施設利用者	4月中旬から10月末日までの期間、キャンプ場及びバーベキュー場の運営		
		市民ギャラリーうみっこの運営	施設利用者	書、画及び手芸等の発表の場及びや交流・憩いの場の提供		
施設の維持管理	施設	適切に施設の維持管理を行うことによる良好な施設環境の維持				
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	16,550	11,759	26,807	24,319	43,357	36,078
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	65	当該施設が持つ博物館的機能、レクリエーション機能に生涯学習活動の発表の場という機能を加えることにより、多様な交流機会を提供することとなり、市民等の交流活動の促進に資するものである。			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
				人	人	%
		総合交流促進施設利用者数		25,000.0		0.0
指標の内容		実績の分析				
総合交流促進施設の年間利用人数の累計を指標とする。(H19年度実績 = 23,798人)						
指標の算式						
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
	目標評価点	1.80				



## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		西田記念哲学館管理運営事業				
基本事項	予算科目	11-10-4-8(1-3-1)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	専門員 大熊 玄		連 絡 先	(076)283-6600 (内線 7-930)	
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	3) 生涯学習・芸術・文化振興	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	石川県西田幾多郎記念哲学館は、かほく市出身の哲学者西田幾多郎の遺徳を顕彰し、哲学に関する情報を集積及び発信することによって哲学の啓発を図っていくために様々な運営がなされている。「市民を中心とする人々」に対して、「西田幾多郎に関する資料の展示並びに哲学に関する企画展、講演会及び講座を開催する」ことにより、「精神修養の機会を提供する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		学芸業務(ソフトウェア)	施設利用者	西田幾多郎に関する資料の収集、管理及び展示		
		催しの企画運営	施設利用者	西田哲学を中心に哲学の様々なテーマについて、企画展、講演会及び講座の開催		
		施設保全	施設	哲学館(哲学の杜含む)の建築物及び設備の保守、定期点検、修繕及び清掃の実施		
費用	学芸業務(ハードウェア)	施設・展示品	展示機器及び展示品の適切な保守管理			
	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	37,154	30,470	29,725	26,965	66,879	57,435
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	75	「教育・文化」の「創造力といきがいをはぐむ教育・文化のまちづくり」という基本方針にのっとり、単に国や他の地方行政の模倣ではなく、かほく市独自の文化を創造するため、国際的に評価される「西田哲学」を中心とした思想・哲学を国内外に広めることは、かほく市にとって必要な事業である。「やすらぎ」と「うるおい」のまちを作るには、グローバルな視野を持ちながら、ローカルに地域の歴史・文化を尊重し学び活かすことが必要であり、当事業は、かほく市が石川県だけでなく日本全体に対して文化的に寄与する事業として重要である。			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
				人	人	%
		西田幾多郎記念哲学館への入館者数		20,000.0		0.0
指標の内容		実績の分析				
西田幾多郎記念哲学館の年間入館者数の累計を指標とする。(H20年度実績 = 19,694人)						
指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
1.31						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		生涯学習推進事業				
基本事項	予算科目	11-10-4-9(1-1-1)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	係長 新田 陽介		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-167)	
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	3) 生涯学習・芸術・文化振興	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	市民の学習ニーズも高度化かつ多様化している現状において、市民の生涯にわたる学習活動の支援を図るうえで、様々な分野での学習機会の充実が求められており、また、社会の急激な変化に対応する教育の機会の充実も必要となってきている。 「様々な学習意欲を持つ市民」に対して、「学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催し、また、市民講座や職員出前講座に加えて市民憲章推進事業を実施する」ことによって、「地域ぐるみの活動を活性化させ、生涯学習社会を目指す」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		かほく市生涯学習フェスティバル	市民	市民の生涯学習活動の成果の発表の場として、芸能発表や作品展示等の実施		
		かほく市出前講座	市民	市民団体等から申込みを受け、市職員を講師として派遣		
		市民憲章推進事業	市民	かほく市民憲章の真現化を目指し、毎年テーマを設定し活動を展開		
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	3,968	3,738	24,984	22,664	28,952	26,402
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	75	いつでも自由に学習できる機会や場の提供を行なうことによる生涯学習活動の活性化を推進するとともに、現代的な教育テーマについての学習を行政、地域、学校及び家庭が連携し推進することは、本市のまちづくりにおいて重要な位置を占める。			
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		生涯学習フェスティバル作品展示会場の来場者数	5,500.0	人	人	%
		指標の内容	実績の分析			
	生涯学習活動に対する関心度として、生涯学習フェスティバルの作品展示会場(第1または第2展示会場)への来場者数の累計を指標とする。(H20年度実績 = 5,258人)					
	指標の算式					
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
	目標評価点					
		2.84				

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名	地域ぐるみの学校支援推進事業
-----	----------------

基本事項	予算科目	11-10-4-9(1-2-1)	所 属	教育部生涯学習課
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸	所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之
	担 当 者	課長補佐 北川 直紀	連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-167)
	基本方針	2. 教育・文化	主要施策	3) 生涯学習・芸術・文化振興
	義務的事業		定型的事業	

事業の概要	目的	近年、青少年の犯罪、いじめ、不登校等、様々な問題が発生している背景として、地域の教育力低下が指摘されている。また、学校教育においては、教員の教育活動以外による業務量の増加が問題となっている。「学校教育」に対して「地域が支援」することで、「学校と地域との連携体制が構築され、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の拡充に加えて市民の学習成果を生かす場が広がることによる地域の教育力が活性化すること」を目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		学校支援活動	学校支援ボランティア	学校の求めに応じ、登録されているボランティアと連絡調整のうえ、学校支援活動を実施			
	啓発活動	市民	生涯学習活動の成果を生かす場としての学校支援活動についての啓発の実施				
費用	事業費		管理費		総費用		
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	3,527	27	8,754	7,941	12,281	7,968	

事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	75	学校支援活動の取り組みをさらに発展させて組織的なものとし、学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援を行うことによる教育の充実だけでなく、学校支援ボランティア活動を通じて地域住民が自らの学習成果を生かす場が広がり、地域の教育力が向上することは、教育基本法に規定される学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力の推進に寄与するものである。				
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		学校支援ボランティア登録人数の合計	500.0	人	人	%
		指標の内容	実績の分析			
		地域教育力活性化本部が作成する学校支援ボランティア人材バンク登録者数を指標とする。				
指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
9.41						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		少年愛護センター事業					
基本事項	予算科目	11-10-4-10(1-1-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主査 松本 博昭		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-170)		
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	2) 青少年の健全育成		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	<p>これからの時代を担う青少年を取り巻く環境が青少年に大きな影響を与えており、特にストレスの増加やゆとりのない社会状況が背景となり、青少年の犯罪が増加する傾向にある。                      「市内の青少年」に対して、「街頭パトロールや積極的な声かけ及び有害環境の浄化を推進する」ことによって、「青少年の健全育成を推進する」ことを目的とする。</p>					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		街頭補導活動を定期的に実施	青少年を中心とする市民	少年愛護指導員(平日午後)及び少年愛護員(月1回)が巡回補導活動を実施			
		有害環境の浄化活動の実施	青少年を中心とする市民	少年愛護指導員(平日午後)及び少年愛護員(月1回)が巡回浄化活動を実施			
	啓発活動	青少年を中心とする市民	夏休み及び冬休み前に青少年健全育成に資する記事を掲載したチラシ等を各家庭へ配付				
費用	事業費		管理費		総費用		
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	1,818	1,678	3,465	3,143	5,283	4,821	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	80	青少年の人口の減少にかかわらず、少年非行が依然として多い深刻な状況にある中で、喫煙や深夜はいかいなど青少年を注意・指導することの必要性は高いと考える。行政、警察、学校が一体となって情報を共有し、あらゆる局面にも対応できる体制が重要である。				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		非行青少年減少率		30.0	%	0.0	%
		指標の内容		実績の分析			
津幡警察署管内で非行を行った市内在住非行少年の発生件数が基準年度(H19年度97件)に対する減少率を指標とする。							
指標の算式							
(1 - 今年度非行少年発生件数 / 基準年度非行少年発生件数(97件)) * 100							
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等			
	目標評価点						
		16.59					

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		国際交流事業					
基本事項	予算科目	11-10-4-11(1-1-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	課長補佐 北川 直紀		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-166)		
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	4) 国際感覚の育成		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	グローバル社会が進展するなかにおいては、諸外国のことを知るが必要不可欠となっており、本市においてもドイツ連邦共和国のメスキルヒ市との相互訪問等の異文化に対して理解を深める事業を展開している。 「市民」に対して、「国際交流員を配置し、市国際交流協会との連携による国際理解教室及び語学教室等を開催する」ことにより、「市民の国際感覚の育成を推進する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		姉妹都市交流事業	市民	姉妹都市と隔年相互訪問する青少年交流事業や国際交流協会主催の成人交流を展開			
		国際交流員招致事業	市民	姉妹都市との連絡調整に必要な通訳及び市民への異文化理解に資する活動の実施			
費用	事業費		管理費		総費用		
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	11,170	9,339	5,835	5,294	17,005	14,633	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	70	これからの時代を担う青少年が直接外国人と触れ合う機会を創出することにより、外国への関心を高めるとともに、異文化に対する理解を深めることは非常に重要である。				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		市国際交流協会会員数		160.0	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		国際交流に関心を示す市民の受け皿として、市国際交流協会がある。その会員数を市民の国際感覚を測る指標とする。(H20年度実績 = 145人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
4.78							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名	文化財保護事業						
基本事項	予算科目	11-10-4-12(1-1-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	係長 能田 玲子		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-173)		
	基本方針	2. 教育・文化		主要施策	3) 生涯学習・芸術・文化振興		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	市内には出土品、民具及び自然等の文化財61件が指定されている。 「市民」に対して、「文化財の調査、整理、保存及び公開を通じて広く文化財保護の趣旨を周知する」ことにより、「地域の歴史や文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図る」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		指定文化財維持管理事業	市内の指定文化財	文化財の良好な保存を継続するための適切な管理の実施			
		ふるさと学習	市民	文化財を小学生の社会科授業の教材や市民向けの講座に活用			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	2,621	2,526	6,930	6,286	9,551	8,812	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	85	歴史的に貴重な文化財を整理し、学校の授業や一般市民に自分の目で見てもらうことにより、歴史や文化への理解を深めるとともに歴史文化遺産への興味・関心を促進させ、以って郷土の愛する心を培うこと地域学を推進するうえで必要となるものである。				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		文化財施設の見学者数		500.0	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
市内の文化財施設(大海西山弥生の里、上山田貝塚、気屋遺跡及び宇気塚越1号墳)の年間見学者数の累計を指標とする。(H20年度実績 = 359人)							
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
9.65							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		埋蔵文化財調査事業					
基本事項	予算科目	11-10-4-12(1-2-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	係長 能田 玲子		連 絡 先	(076)283-7137 (内線 73-173)		
	基本方針	2.教育・文化		主要施策	3)生涯学習・芸術・文化振興		
	義務的事業	文化財保護法		定型的事業			
事業の概要	目的	<p>歴史的遺産である埋蔵文化財を保護し、学術的な調査研究を行うことにより、郷土の歴史の理解を深め、後世への遺産として適切な管理を行うことが必要である。</p> <p>「宅地開発等の開発行為により失われる可能性がある埋蔵文化財」に対して、「開発行為の前に埋蔵文化財の有無の確認を行い、必要に応じて試掘調査または発掘調査等を行う」ことによって、「埋蔵文化財を保護」することを目的とする。</p>					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		埋蔵文化財試掘調査事業	埋蔵文化財	開発予定地における埋蔵文化財の有無の確認のための試掘の実施			
		埋蔵文化財発掘調査	埋蔵文化財	開発予定地において発掘による文化財の詳細調査を行い、当該文化財を保護			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	2,465	280	5,835	5,294	8,300	5,574	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	55	<p>国民の共有的な財産である埋蔵文化財を適切に記録保存等の保護をしていくことは、文化財保護法により定められた地方自治体の責務であり、開発業者等への周知を図りつつ今後も必要に応じて適宜処理を行っていく必要がある。</p>					
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		開発行為等に伴う埋蔵文化財事前照会件数		70.0		0.0	
		指標の内容		実績の分析			
	<p>砂砂利採取申請、農地転用申請、道路認定申請及び大規模開発申請等に伴う埋蔵文化財照会又は取扱い協議の件数を指標とする。(H20年度実績 = 58件 周知の成果として増加が望ましい)</p>						
	指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
9.87							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		体育指導委員費					
基本事項	予算科目	11-10-5-1(1-1-1)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 南 敬太		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-234)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業	スポーツ振興法第19条		定型的事業			
事業の概要	目的	<p>平成12年、スポーツ振興法の改正により、社会体育活動の推進と地域づくりを目指した生涯スポーツ活動推進への取組みが示された。本市では、今日まで地域スポーツ振興として団体(集団)活動は展開されてきたが、個人へのスポーツ活動の環境づくりへの施策が遅れていたため、幼児から高齢者などの市民が参加できる生涯スポーツに親しむ機会の充実が求められている。この現状に対して、総合型地域スポーツクラブのコーディネーター役など、住民と行政を結ぶ橋渡しの役割を果たし、地域あるいは個人へのニーズに対応できる体育指導委員(指導者)の必要性はますます高まっている。</p> <p>そのため、「体育指導委員」に対して、「各種研修会に参加してもらう」ことにより、「他の地域の体育指導委員と意見交換や生涯スポーツに関する知識・指導方法を習得し、本市においての生涯スポーツの指導や助言のレベルを向上させる」ことを目的とする。</p>					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		全国体育指導委員研究協議会	体育指導委員	生涯スポーツの振興に関する問題について、全国の体育指導委員と意見交換し、その成果を生涯スポーツの指導に生かす。			
		北陸地区体育指導委員研修会	体育指導委員	生涯スポーツの振興に関する問題について、北陸地区の体育指導委員と意見交換し、その成果を生涯スポーツの指導に生かす。			
費用	事業費		管理費		総費用		
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	1,119	1,119	11,065	8,587	12,184	9,706	
事業評価	必要性	65	<p>事業の有効度</p> <p style="text-align: center;">主要施策の実現における事業の位置付け</p> <p>体育指導委員を対象とした各種研修会に参加することによって、指導技術、運営能力などの資質の向上を図ることができる。</p> <p>資質向上により、市民にニュースポーツの出前講座や体力テストの指導を行うことができ、幅広い年代の交流、そして市民の心身の健全な発達と保持・増進、生涯スポーツの振興に大いに資するものである。</p>				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		体育指導委員の指導に満足する市民の割合		70.0	%	0.0	
		指標の内容		実績の分析			
		市民に対して体育指導委員が指導を行う出前講座等の参加者に対して行ったアンケートで、「体育指導委員の指導に満足した」と回答した市民の割合。					
	指標の算式						
「満足した」回答数 / 総回答数 * 100							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
6.70							



## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		生涯スポーツ振興事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-1(1-4-1)		所属	教育部生涯学習課		
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担当者	主事 南 敬太		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-234)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業	スポーツ振興法第7条、第8条		定型的事業			
事業の概要	目的	<p>平成18年度に実施した市民アンケート調査では「かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率」が27.6%と低い数値を示している。かほく市スポーツ振興計画では、「かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率」を50%以上としている。</p> <p>「市民」に対して、「軽スポーツの普及、また高齢者健康クラブやスポーツ少年団の育成と活動支援及び指導者資格取得補助を行う」ことで、「小学生から高齢者の幅広い年代を対象とした生涯スポーツの普及・振興を図る」ことを目的とする。</p>					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		健康クラブ育成	健康クラブ	高齢者の運動習慣化の促進を行う			
		スポーツ少年団育成	スポーツ少年団	スポーツによる青少年健全育成を行う			
		スポーツ公認資格取得補助金	スポーツ指導員	スポーツ公認資格取得のための補助金を交付する。			
費用	事業費		管理費		総費用		
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	7,811	7,811	9,454	7,336	17,265	15,147	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	65	<p>指導者資格取得の補助を行うことで、生涯スポーツの指導者養成を図るとともに、健康クラブは高齢者、スポーツ少年団は小・中学生のスポーツ大会・研修会・交流大会等を企画し、スポーツ人口の拡大や市の生涯スポーツ振興に大きな役割を果たしている。</p>				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		健康クラブ、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの会員数		5,000	人	人	%
		健康クラブ、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの会員数		実績の分析			
	生涯スポーツに親しむ人の指標として、健康クラブとスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ(ジョイ・レッツ・パル)の会員数を採用する。 (H20年度実績 = 5,091人)						
	指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
	4.29						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		各種大会事業				
基本事項	予算科目	11-10-5-1(1-6-1)		所 属	教育部生涯学習課	
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担当者	主事 南 敬太		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-234)	
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	平成18年度に実施した市民アンケート調査では「かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率」が27.6%と低い数値を示している。 このような状況を受け、「市民」に対して、「各種スポーツ大会を開催する」ことで、「運動を実施する機会を提供し、健康増進と体力向上を図るとともに、市民相互の連携を深める」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		スポレクサーキット大会	かほく市民及び、かほく市に勤務する人	6月～翌年1月にかけて3回のニュースポーツ競技会を開催し、3種目の総合成績を競う。		
		市長杯争奪石川県ラジボール卓球大会	石川県在住の社会人	20代から80代と幅広い年齢層で加賀、能登の地域を越えてラジボール卓球競技を行う。		
		サンドヒルGG大会	グラウンド・ゴルフ愛好者	県内及び香川県、大阪府、三重県、新潟県、福井県、富山県から約200チーム1000人が参加し、グラウンド・ゴルフ競技を競う。		
市制施行記念継走大会	中学生以上の人	市制施行を記念し、中学生から大人までが市内周回コースを4人で継走する。				
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	6,912	5,640	13,236	10,271	20,148	15,911
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	60	市民に対して、各種スポーツ大会を開催することで、生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、市民の健康づくりを進める。 かほく市スポーツ振興計画では、「市民(成人)の週1回以上の運動実施率」を50%を目標にしているが、目標達成にはスポーツをするきっかけとなる各種大会を開催し、スポーツに親しんでもらう機会やきっかけを増やすことが必要不可欠である。			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		市総合体育大会の参加率		5.0	%	0.0
		指標の内容		実績の分析		
指標の算式		日ごろのスポーツの成果を発揮する場として、かほく市総合体育大会の参加率を指標とする。				
市総合体育大会の参加者数 / かほく市内の成人者数 * 100						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00	%	%			
	目標評価点					
3.77						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気野球場維持管理事業費					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-2)		所属	教育部生涯学習課		
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担当者	主事 杉本 真由美		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当野球場は昭和51年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで様々な野球チームの大会・試合・練習の場として活用されている。 「宇ノ気野球場」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から31年以上が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		宇ノ気野球場の施設維持管理	施設利用者	野球場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	176	126	1,400	1,087	1,576	1,213	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	45	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		6,400	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 6,634人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
	37.10						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		金津ソフトボール場維持管理事業費				
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-3)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)	
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	<p>当ソフトボール場は平成元年4月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで様々な野球・ソフトボールチームの大会・試合・練習の場として活用されている。</p> <p>「金津ソフトボール場」に対して「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から18年以上が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。</p>				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		金津ソフトボール場の施設維持管理	施設利用者	ソフトボール場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。		
	費用	事業費		管理費		総費用
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	2	0	1,400	1,087	1,402	1,087
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	45	<p>施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)</p>			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
				人	人	%
		施設利用者人数		3,500		0.0
		指標の内容		実績の分析		
	施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 3,609人)					
	指標の算式					
	総合評価	評価点	方向性	改善計画等		
		0.00				
目標評価点						
41.40						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		高松体育センター維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-4)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当体育センターは昭和53年2月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「高松体育センター」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から29年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		高松体育センターの施設維持管理	施設利用者	体育センターやその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	230	200	1,400	1,087	1,630	1,287	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		12,200	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 10,149人)					
	指標の算式						
	総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
		目標評価点	46.62				

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		七塚体育センター維持管理事業						
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-5)		所 属	教育部生涯学習課			
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之			
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)			
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進			
	義務的事業			定型的事業				
事業の概要	目的	<p>当体育センターは昭和58年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。  「七塚体育センター」に対して「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から24年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。</p>						
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容				
		七塚体育センターの施設維持管理	施設利用者	体育センターやその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。				
	費用	事業費		管理費		総費用		
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円		
	109	18	1,400	1,087	1,509	1,105		
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け						
	必要性	60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標			目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数				10,700	人	0.0
		指標の内容		実績の分析				
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 10,228人)						
指標の算式								
総合評価	評価点	方向性		改善計画等				
	0.00							
	目標評価点							
54.30								

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		河北台健民体育館維持管理事業				
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-6)		所属	教育部生涯学習課	
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担当者	主事 杉本 真由美		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-233)	
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	当体育館は昭和52年9月に竣工、平成2年と17年に一部増築がされ、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「河北台健民体育館」に対して「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から30年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		河北台健民体育館の施設維持管理	施設利用者	施設、その他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。		
		河北台健民館指定管理者の向上	クラブパル	体育館や2Fトレーニング機器を活用し、多彩なメニューによる市民の健康づくりの場を提供する。		
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	10,372	7,681	1,610	1,250	11,982	8,931
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	70	スポーツ少年団や中学生部活動、一般市民の各種大会の活動施設として、また地域住民の交流の場(体力・健康増進)として、施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数	80,100	人	人	%
		達成率	0.0			
	指標の内容	実績の分析				
	施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 80,303人)					
	指標の算式					
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
	7.84					

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気体育センター維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-7)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当体育センターは昭和52年4月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「宇ノ気体育センター」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から30年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		宇ノ気体育センターの施設維持管理	施設利用者	体育センターやその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	89	84	1,400	1,087	1,489	1,171	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		17,200	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 13,944人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
51.24							



## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気南部体育館維持管理事業			
-----	--	----------------	--	--	--

  

基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-8)		所属	教育部生涯学習課
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之
	担当者	課長補佐 山口 達夫		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-231)
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進
	義務的事業			定型的事業	

  

事業の概要	目的	当体育館は昭和61年2月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「宇ノ気南部体育館」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から21年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		宇ノ気南部体育館の施設維持管理	施設利用者	体育館競技場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。		

  

費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	118	113	1,400	1,087	1,518	1,200

  

事業評価	必要性	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け			
		60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		施設利用者人数		10,500	人	0.0
指標の内容		実績の分析				
	施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 10,265人)					
	指標の算式					
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
50.00						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名	金津体育館維持管理事業
-----	-------------

基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-9)	所 属	教育部生涯学習課
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸	所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之
	担 当 者	主事 杉本 真由美	連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)
	基本方針	1. 健康・福祉	主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進
	義務的事業		定型的事業	

事業の概要	目的	当体育館は昭和58年2月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「金津体育館」に対して「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から24年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		金津体育館の施設維持管理	施設利用者	体育館やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	153	113	1,400	1,087	1,553	1,200	

事業評価	必要性	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
		45	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率			
		施設利用者人数	9,000	人	人	%		
		指標の内容	実績の分析					
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 8,077人)						
	指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等					
	0.00							
	目標評価点							
	37.50							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		七窪体育館維持管理事業				
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-10)		所属	教育部生涯学習課	
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担当者	主事 杉本 真由美		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-233)	
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	当体育館は平成3年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「七窪体育館」に対して「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から17年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		七窪体育館の施設維持管理	施設利用者	体育館やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。 また、万一の事故や災害に備える。		
	費用	事業費		管理費		総費用
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	
	336	335	1,400	1,087	1,736	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、七窪区民をはじめとした一般市民の利用者が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		施設利用者人数		14,000		0.0
		指標の内容		実績の分析		
施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 8,972人)						
指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
42.19						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気新化館維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-11)		所属	教育部生涯学習課		
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担当者	課長補佐 山口 達夫		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-231)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当体育館は昭和54年4月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「宇ノ気新化館」に対して、「施設の維持管理をする」ことにより、「竣工から28年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		宇ノ気新化館施設維持管理	施設利用者	施設や付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
		指定管理者としての向上	NPO法人 クラブレッツ	18年度より、当施設の指定管理者として、事業運営の効率化と施設の維持管理の充実に努める。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	1,004	1,003	1,610	1,250	2,614	2,253	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で安心してスポーツができる環境を提供することとなる。また、NPOクラブレッツを指定管理者として体育施設の効果的運用と運動習慣者の増加を図るため、施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		10,600	人	人	%
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 10,686人)		実績の分析			
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性		改善計画等			
	0.00						
	目標評価点						
	26.63						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気スポーツセンター維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-12)		所属	教育部生涯学習課		
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担当者	主事 杉本 真由美		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当体育センターは昭和60年12月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「宇ノ気スポーツセンター」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から22年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		宇ノ気スポーツセンターの施設維持管理	施設利用者	施設本体やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	427	407	1,400	1,087	1,827	1,494	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	45	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民及び児童が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		7,200	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 7,483人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
30.12							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		高松陸上競技場維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-13)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当競技場は昭和53年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「高松陸上競技場」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から29年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		高松陸上競技場の施設維持管理	施設利用者	陸上競技場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	3	2	1,400	1,087	1,403	1,089	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	45	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		2,400	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 2,694人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
41.32							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		うのけ総合公園陸上競技場維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-14)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当競技場は平成3年9月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「うのけ陸上競技場」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から16年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		うのけ陸上競技場の施設維持管理	施設利用者	施設やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	3,639	3,532	1,610	1,250	5,249	4,782	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	45	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		7,500	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 7,641人)					
	指標の算式						
	総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
		目標評価点	9.41				

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		高松テニスコート維持管理事業			
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-15)		所 属	教育部生涯学習課
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進
	義務的事業			定型的事業	
事業の概要	目的	当テニスコートは昭和54年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「高松テニスコート」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から28年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。			
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容	
		高松テニスコートの施設維持管理	施設利用者	テニスコートやその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。	
	費用	事業費		管理費	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円
	1	0	1,400	1,087	1,401 1,087
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け			
	必要性	30	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)		
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率
		施設利用者人数	210	人	0.0
		指標の内容	実績の分析		
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 213人)			
指標の算式					
総合評価	評価点	0.00	方 向 性	改 善 計 画 等	
	目標評価点				
		27.60			



## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		七塚テニスコート維持管理事業				
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-16)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)	
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	当テニスコートは昭和59年10月に竣工、平成元年と16年にコートが改修され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「七塚テニスコート」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「コート改修から日は浅いものの、フェンス等は竣工から23年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		七塚テニスコートの施設維持管理	施設利用者	テニスコートやその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。		
	費用	事業費		管理費		総費用
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	8	0	1,400	1,087	1,408	1,087
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		施設利用者人数		12,000	人	0.0
		指標の内容		実績の分析		
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 11,790人)				
指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
55.20						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気テニスコート維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-17)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当テニスコートは昭和60年12月に竣工され、小学生の運動広場として活用されている。「宇ノ気テニスコート」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から22年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も小学生の運動広場として安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		宇ノ気テニスコートの施設維持管理	施設利用者	テニスコートやその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	1	0	1,400	1,087	1,401	1,087	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	30	施設を適切に管理し利用可能な状態を維持することにより、小学生が安全で、また安心して運動できる環境を提供することとなる。施設の維持管理をすることにより、かほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように児童の体力・運動能力の向上を図ることができる。				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		320	人	0.0	
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 110人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
27.60							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		うのけ総合公園テニスコート維持管理事業				
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-18)		所 属	教育部生涯学習課	
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)	
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	当テニスコートは昭和51年6月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「うのけ総合公園テニスコート」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から31年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		うのけ総合公園テニスコートの施設維持管理	施設利用者	テニスコートやその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。		
	費用	事業費		管理費		総費用
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	1	0	1,400	1,087	1,401	1,087
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	30	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)			
	成果・実績	指 標	目 標 値		実 績 値	達 成 率
			人		人	%
		施設利用者人数	220			0.0
		指標の内容	実績の分析			
	施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 238人)					
指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
27.60						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		高松弓道場維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-19)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当弓道場は昭和55年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「高松弓道場」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から27年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		高松弓道場の施設維持管理	施設利用者	弓道場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	13	12	1,400	1,087	1,413	1,099	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	30	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標	目 標 値		実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数	350		人	人	%
		指標の内容	実績の分析				
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 240人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
27.30							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		七塚武道館維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-20)		所属	教育部生涯学習課		
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担当者	課長補佐 山口 達夫		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当武道館は昭和59年5月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「七塚武道館」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から23年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		七塚武道館の施設維持管理	施設利用者	武道館の各武道場の機能の充実やその他付属設備等の定期的管理・点検を行い、利用者が安全に安心して利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	104	64	1,400	1,087	1,504	1,151	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	60	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		10,500	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
	施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 9,996人)						
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
52.13							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気弓道場維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-21)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	<p>当弓道場は昭和54年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。</p> <p>「宇ノ気弓道場」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から28年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。</p>					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		宇ノ気弓道場の施設維持管理	施設利用者	弓道場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	43	42	1,400	1,087	1,443	1,129	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	45	<p>施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)</p>					
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率		
		施設利用者人数	4,200	人	人	%	
		指標の内容	実績の分析				
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 4,913人)					
指標の算式							
総合評価	評価点	方向性	改善計画等				
	0.00						
	目標評価点						
39.86							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		高松グラウンドゴルフ場維持管理事業						
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-23)		所 属	教育部生涯学習課			
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之			
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)			
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進			
	義務的事業			定型的事業				
事業の概要	目的	当グラウンドゴルフ場は平成3年3月に竣工、平成8年にクラブハウス、コースが一部拡張がされ、一般市民の大会・試合・練習の場として活用されている。 「高松グラウンドゴルフ場」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から16年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。						
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容				
		高松グラウンドゴルフ場の施設維持管理	施設利用者	グラウンドゴルフ場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。				
	費用	事業費		管理費		総費用		
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円		
	8,229	2,310	1,610	1,250	9,839	3,560		
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け						
	必要性	70	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標			目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数				42,000	人	0.0
		指標の内容		実績の分析				
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 42,240人)						
	指標の算式							
	総合評価	評価点	方向性		改善計画等			
		0.00						
		目標評価点						
19.66								

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		アクロス高松維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-26)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	主事 杉本 真由美		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当施設は平成8年3月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「アクロス高松」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から11年と経過年数は浅いものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		アクロス高松の施設維持管理	施設利用者	野球場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	5,076	1,176	1,400	1,087	6,476	2,263	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	70	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民をはじめとした利用者が安全に、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設の効果的運用と運動習慣者の増加を図るため、コナミによる多様なプログラムメニュー等を提供し、施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		229,500	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 219,759人)					
	指標の算式						
	総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
		目標評価点	30.93				



## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		高松野球場維持管理事業				
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-27)		所属	教育部生涯学習課	
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之	
	担当者	主事 杉本 真由美		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-233)	
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	当野球場は昭和48年9月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「高松野球場」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から34年が経過して経年劣化が懸念されるものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		高松野球場の施設維持管理	施設利用者	野球場やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。 また、万一の事故や災害に備える。		
	費用	事業費		管理費		総費用
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	
	3,457	3,417	1,610	1,250	5,067 4,667	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	45	施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標: かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		施設利用者人数		6,300	人	0.0
		指標の内容		実績の分析		
		施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 6,481人)				
指標の算式						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
9.64						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		河北台体育館維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-30)		所 属	教育部生涯学習課		
	部 局 長	教育部長 酒井 弘幸		所 属 長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担 当 者	課長補佐 山口 達夫		連 絡 先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当体育館は平成18年1月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「河北台体育館」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から2年と経過年数は浅いものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		河北台体育館の施設維持管理	施設利用者	体育館やその他付属設備等を日常あるいは定期的に管理・点検し、利用者が安全に利用できるよう維持管理に努める。また、万一の事故や災害に備える。			
	費用	事業費		管理費		総費用	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	44	43	1,400	1,087	1,444	1,130	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	70	市民のスポーツ施設、また学校体育の場として、施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民をはじめスポーツ少年団や中学生が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することとなる。施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標・かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
				人	人	%	
		施設利用者人数		30,900		0.0	
		指標の内容		実績の分析			
	施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 24,221人)						
	指標の算式						
	総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
		0.00					
目標評価点							
61.95							

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		宇ノ気体育館維持管理事業					
基本事項	予算科目	11-10-5-2(1-2-31)		所属	教育部生涯学習課		
	部局長	教育部長 酒井 弘幸		所属長	生涯学習課長 沖野 利之		
	担当者	課長補佐 山口 達夫		連絡先	(076)283-7138 (内線 73-233)		
	基本方針	1. 健康・福祉		主要施策	4) 健康づくり・スポーツ活動の促進		
	義務的事業			定型的事業			
事業の概要	目的	当体育館は平成18年1月に竣工され、スポーツ少年団・中学校の部活動・一般成人まで幅広い世代の大会・試合・練習の場として活用されている。 「宇ノ気体育館」に対して、「施設の維持管理をする」ことによって、「竣工から2年と経過年数は浅いものの、今後も市民のスポーツ振興並びに安全な施設利用に寄与する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		宇ノ気体育館の施設の維持管理	施設利用者	体育館機能を図るため、付帯設備の日常の定期点検や、万一の事故に備えた施設の維持管理体制の充実を図る。			
		宇ノ気体育館指定管理者の向上	NPO法人 クラブレッツ	1Fスタジオや、トレーニング機器を活用し、多彩なメニューによる市民の健康づくりの場を提供する。			
		事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	4,609	4,484	1,610	1,250	6,219	5,734	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	70	市民の体力・健康増進の施設として、また学校体育の場として、施設や付属設備を適切な状態に管理し、常に施設を利用可能な状態で維持することにより、一般市民をはじめとした利用者が安全で、また安心してスポーツができる環境を提供することができる。NPOクラブレッツを指定管理者として体育施設の効果的運用と運動習慣者の増加を図るため、多様なプログラムメニュー等を提供し、施設維持管理のための定期点検はもとより施設の効率的な利用を図り、市民の健康増進及び競技力向上のための施設にすることにより、やがてはかほく市スポーツ振興計画・成果目標にもあるように運動習慣者の増加を図ることを目的とする。(かほく市スポーツ振興計画・成果目標:かほく市民(成人)の週1回以上の運動実施率を50%にする)					
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		施設利用者人数		37,800	人	人	%
		指標の内容		実績の分析			
	施設利用申請書に記載されている人数の合計 (H20年度実績 = 34,851人)						
	指標の算式						
総合評価	評価点	方向性		改善計画等			
	0.00						
	目標評価点						
12.21							